

授業科目	呼吸発声系医学（呼吸発声発語系の構造、機能、病態）				
担当者	本多知行・河合良隆・藤村真太郎				
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	2年	総単位数	1単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

### ■ 授業目的・内容

嚥下障害分野：嚥下障害の臨床に必要な医学的知識および支援のあり方について学ぶ。（本多）  
 音声障害分野：音声障害の基礎及び臨床について、医学的な観点から講義を行う。（河合・藤村）

### ■ 到達目標

嚥下障害分野：嚥下障害の理解を深め、人間の根源的欲求である「口から食べる」という QOL の向上を目的として、言語聴覚士が支援できる技術と考え方を習得する。（本多）  
 音声障害分野：音声障害のリハビリテーションを行う際に必要となる耳鼻咽喉科学的知識を習得する。（河合・藤村）

### ■ 授業計画

- 第1回 嚥下障害の理解のために必要な解剖・生理（本多）（遠隔授業：オンデマンド配信）
- 第2回 嚥下障害の理解のために必要な評価と訓練1（本多）（遠隔授業：オンデマンド配信）
- 第3回 嚥下障害の理解のために必要な評価と訓練2（本多）（遠隔授業：オンデマンド配信）
- 第4回 嚥下障害におけるチームアプローチと関連事項（本多）（遠隔授業：オンデマンド配信）
- 第5回 偽（仮）性球麻痺タイプの嚥下障害の特徴とアプローチ（本多）  
球麻痺タイプの嚥下障害の特徴とアプローチ
- 第6回 変性疾患の嚥下障害に対する特徴とアプローチ（本多）
- 第7回 嚥下障害の重症度分類と最近の話題（本多）
- 第8回 喉頭の解剖と生理（1）軟骨／筋（河合）
- 第9回 喉頭の解剖と生理（2）神経／血管／咽頭・喉頭の内腔声帯（河合）
- 第10回 発声の原理 呼吸／声帯振動／声帯共鳴／構音（藤村）
- 第11回 音声に関する検査（1）（藤村）
- 第12回 音声に関する検査（2）（河合）
- 第13回 音声外科手術 音声障害をきたしうる疾患（1）（河合）
- 第14回 音声外科手術 音声障害をきたしうる疾患（2）（藤村）
- 第15回 無喉頭での音声再獲得と管理（藤村）

### ■ 評価方法

筆記試験100%

### ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

授業内容を、教科書と配布資料をもとにして復習しておいてください。

### ■ 教科書

書 名：言語聴覚士のための音声障害学  
 著者名：大森孝一  
 出版社：医歯薬出版

## ■ 参考図書

書名：「摂食・嚥下リハビリテーション」第3版

著者名：金子芳洋

千野直一監修

出版社：医歯薬出版

---

書名：「嚥下障害の臨床」第2版

著者名：日本嚥下障害臨床研究会監修

出版社：医歯薬出版

## ■ 留意事項

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合があります。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。